

研究の窓



人間情報学部
人間情報学科
教授

伊藤 真理

【学歴】
1984年3月 エリザベス音楽大学 音楽学部 音楽学科 音楽学コース卒業
1988年5月 ニューヨーク州立大学バッファロー校大学院 図書館学 修士課程修了
1989年3月 ニューヨーク州立大学バッファロー校大学院 音楽研究科 音楽修士課程修了
2001年3月 愛知淑徳大学 文学研究科 図書館情報学 博士後期課程単位取得満期退学
2009年9月 博士(図書館情報学)取得(愛知淑徳大学)

【歴歴】
1986年9月～1989年3月 ニューヨーク州立大学バッファロー校 音楽図書館勤務(非常勤)
1989年4月～1991年4月 エリザベス音楽大学 附属図書館勤務
1991年5月～1997年3月 国立音楽大学 附属図書館勤務
2002年4月 愛知淑徳大学 文学部 図書館情報学科 専任講師
2005年4月 愛知淑徳大学 文学部 図書館情報学科 准(助)教授
2010年4月 愛知淑徳大学 人間情報学部 教授

2018年度から開講した専門科目「音楽情報サービス入門」を担当する伊藤先生。音楽分野における情報サービスのあり方について追究しています。ゼミでは、図書館総合展のポスター・セッションに参加して、学生が行政機関や企業などの人々と意見交換できるようサポート。さらに、豊田市の学校図書館でのインナーシップも支援しています。「現場で学ぶ」多様な機会を用意し、学生たち個々の力を引き出しています。

などの学びを通して、
学生の成長も後押し。

私の専門分野は音楽図書館情報学です。

音楽分野では、研究にしろ演奏にしろ、図書や雑誌だけでなく、音楽作品 자체に関する資料、つまり楽譜や録音映像資料がとても重要です。音楽というジャンルの特徴とともに、資料としての特性を理解することが、より適切なサービスにつながります。

当然のことながら、音楽に関する専門知識を持ち、史資料の特性を理解していることが求められますが、残念ながらまだ国内では、専門教育を提供している大学はありません。しかし、楽譜やCDなど音楽に関する資料は、音楽専門図書館のみならず一般の公共図書館でも提供、利用されており、とてもボピュラーな分野なのです。日本の現状をふまえて、どのようにしたら効率

よく多くの人に役立つ音楽分野の情報専門家を養成できるかが、私の課題です。そのため国立国会図書館と協力しながら、遠隔研修などに取り組んでいるところです。

また、最近は学校図書館にも関心を持つています。学校では多種多様なメディアを利用しても知識を持ち、専門的なスキルを活用して教育支援をすることが求められます。ここでもメディアに精通し、かつ学校教育についても知識を持ち、専門的なスキルを育む人材が必要です。学校図書館法が改正され、学校司書の配置に努めることが明文化されました。

このように、図書館に関わる多様な分野で、それぞれの専門性を發揮できる人材を送り出したいと考えています。

伊藤先生の主要著書・論文

- 【情報検索講義】(共著)樹村房 2016年9月
- 【学校司書の活動調査からみた学校司書の役割:学校図書館の言語活動支援を中心】[学校司書の活動調査からみた学校司書の役割:学校図書館の言語活動支援を中心] 2017年3月
- 【愛知淑徳大学人間情報学科における学校司書養成への取り組み】[愛知淑徳大学人間情報学科における学校司書養成への取り組み] 2017年3月
- 【愛知淑徳大学人間情報学部篇】(6) 29-37 2016年3月
- 【民族音楽研究者との情報行動からみた東アジアでの伝統音楽情報サービスに関する予備的考察】[民族音楽研究者との情報行動からみた東アジアでの伝統音楽情報サービスに関する予備的考察] 2014年3月
- 【愛知淑徳大学人間情報学科における学校司書養成に関する考察:音楽図書館関連団体による研修の分析】(共著) [音楽ライブラリアンの養成に関する考察:音楽図書館関連団体による研修の分析] (共著) 2016年3月
- 【日本図書館情報学会誌】60(3) 87-105 2014年

